



### 11/3 (金) 学びが集結！共感、発見の1日

学びを広げるまなびフェスタ浦添 2017 がてだこホールを中心に開催されました。  
会場では様々なイベントが行われ、中でも市民交流室で行われたてだこ市民大学特別公開講座では、会場を埋め尽くすほどの参加者であふれました。海外での苦悩やそこからの立ち上がりを熱弁する瀬名波さんに会場は聞き入り、講演会終了後は割れんばかりの拍手が起こりました。  
積極的な質疑応答も交わされ、疑問やそれに対する回答を場内で共有。新たな気づき・発見ができるまなびフェスタは、1日中盛況でした。



### 11/4 (土) 松明の炎に照らされて大綱引き

第26回城間松明(テービー)大綱引きがサンパーク通りで行われました。  
県内では珍しい夜に行われる大綱引きは、伝統ある地元のお祭りで、地域の融和と発展を目的に開催しています。かつての地区の分け方である前村渠(めんだかり)と後村渠(しんだかり)に分かれて綱引きが2回行われ、両者1勝1敗と勝利を分け合いました。  
そのほか、女性たちが巨大な板を豪快にぶつけ合うミシゲーガーエーや旗頭、空手などが行われ、子どもから大人まで誘い合っ会場は大勢の人の熱気で埋め尽くされました。



### 11月1日(水) 街は少しずつ冬のムードへ

ブルーシール牧港本店で毎年恒例のイルミネーション点灯式が行われました。  
会場にはイルミネーションの点灯を心待ちにしていた多くの親子連れが訪れ、浦添少年少女合唱団と参加者全員でカウントダウンを行いました。パッと灯ったキラキラと光る大きなクリスマスツリーや雪だるまに一足早くクリスマスを感じている様子で、一気に華やかな雰囲気に包まれました。  
そのほか風船パフォーマンスや一口で食べられるチョコアイスが振るまわれ、イルミネーションの明かりのもと美しい歌声の合唱がイベントに華を添えました。



### 11/3 (金) 『うらそえYA文芸賞』に7作品が選ばれる。本を読む楽しさの講演

「2017 うらそえ YA 文芸賞表彰式」がてだこホール小ホールで開催されました。  
中学生から大学生を対象に実施しているうらそえYA文芸賞。今年度は、短編小説と詩部門合わせて262作品の応募があり、厳正なる審査を経て煌賞を含む各賞に7作品が選ばれました。短編小説部門・煌賞を受賞した知念祐希(左端)さんは「まさか自分が」と驚き、受賞を喜びました。  
表彰式後は、山田まる氏による読書講演が行われ、独特な世界で「本と付き合う楽しさ」を語る山田氏の話に、会場の皆さん引き込まれている様子でした。



### 10/21 (土) 保育士と会話で、「働きたい」意欲促進

「保育士の働き方改革宣言」に伴う取り組みを知ってもらい、「働きたい」という思いにつなげようと、市役所9階で保育士「見える化」求人説明・面接会が開催されました。  
市内29保育所による、職場の雰囲気などを「見える化」した個別相談コーナーは全国初の試みで、ほかにハローワークによる職業相談コーナーが設けられました。多くの保育士を目指す学生や一般の求職者が詰め掛け、来場者からは「このような場があると、選択肢の幅がとて広がります。来てよかったです」と感想がありました。



### 10/30 (月) みんなで考えよう！あたらしい浦添西海岸

西海岸開発事業に対する市民の理解を深め、意見を聞くため、計画の状況説明と意見交換会がてだこホールで開催されました。  
市長、金城泰邦県議、西銘純恵県議、那覇港管理組合の金城勉副管理者によるフリーディスカッションでは那覇港湾施設代替施設の南側案と北側案に関する内容をめ、様々な議論が行われました。  
会場からは「軍港に比べてリゾート地が小さい」「新しい計画が出たときに市は米軍と交渉ができるのか」などの声もあり、活発な意見交換会となりました。



### 10/23 (月) 自分らしさを認め合う「レインボー都市うらそえ」

浦添市と琉球大学大学院法務研究科が「性の多様性の尊重」についての連携・協力に関する協定を締結しました。性の多様性に特化して法科大学院と自治体が協定を結ぶのは全国で2例目。  
今後市が行う「性の多様性の尊重」に関する施策に対し、法的アドバイスや知識提供を受けることになり、双方が協力して、すべての人の性の多様性を認め合う住みよいまちづくりを目指します。  
清水一成法務研究科長は「これまで培ってきた実績を生かし、性の多様性に関わる課題を共有して一緒に解決していきたい」と述べました。

